

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

実践研修

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	PG1 「障がい者福祉施策及び児童福祉施策の最新の動向」
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
○	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	北海道障害者保健福祉課 担当職員
○	5 担当講師略歴	別紙掲載
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	障害福祉施策及び児童福祉施策に関する最新動向を学習することにより、利用者の制度的な環境の変化を理解する
○	8 教科の概要	北海道障害保健福祉課の担当職員から上記の到達目標に関連した講義を行っていただく
○	9 授業方法	動画による講義
○	10 授業計画	北海道障害者保健福祉課 担当職員による講義
	11 準備学習	事前配布している講義テキストを熟読することが望ましい
	12 教科書・参考書	講義用テキスト
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

実践研修

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	PG2-1 「(自立支援)協議会を活用した地域課題の解決に向けた取り組み」
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
○	3 関連する研修目標	③
○	4 担当講師名	就業・生活応援プラザとねっと 重泉 敏聖
○	5 担当講師略歴	別紙掲載
○	6 時間数	50分
○	7 到達目標	各地域の(自立支援)協議会の活動についての実践報告を通じて、その意義・目的等を理解する。また、サービス管理責任者・児童発達管理として(自立支援)協議会に係る意義についても理解する。
○	8 教科の概要	到達目標に準ずる
○	9 授業方法	講義
○	10 授業計画	同上
	11 準備学習	事前に配布されるテキストを熟読しておくことが望ましい
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

①本人主体の支援方法を理解すること

②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること

③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

実践研修

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	PG2-2 「サービス担当者会議と(自立支援)協議会の活用についてのまとめ」・演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
○	3 関連する研修目標	①、③
○	4 担当講師名	就業・生活応援プラザとねっと 重泉 敏聖
○	5 担当講師略歴	別紙掲載
○	6 時間数	110分
○	7 到達目標	(自立支援)協議会に関する実践報告等を踏まえ、多職種連携や地域連携の重要性、意義、ポイントについてグループワーク等による討議を通じて、連携の在り方について学ぶ。
○	8 教科の概要	到達目標に準ずる
○	9 授業方法	講義・演習
○	10 授業計画	同上
	11 準備学習	事前に配布されるテキストを熟読しておくことが望ましい
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

実践研修

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	PG3 個別支援会議(講義・演習)
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	個別支援会議の運営方法(講義・演習)
○	3 関連する研修目標	①、③
○	4 担当講師名	就業・生活応援プラザとねっと 重泉 敏聖 社会福祉法人麦の子会 金澤 俊文
○	5 担当講師略歴	別紙掲載
○	6 時間数	270分
○	7 到達目標	・個別支援会議の意義、進行方法、会議において行うべき事項を講義により理解する。 ・個別支援会議における合意形成過程について、模擬個別支援会議の実施体験演習を通じて、サービス管理責任者・児童発達管理責任者としての説明能力を獲得する。 ・模擬個別支援会議の体験をもとに、個別支援会議におけるサービス管理責任者・児童発達管理責任者の役割についてグループワーク等により討議し、まとめる。
○	8 教科の概要	到達目標に準ずる
○	9 授業方法	事例を通じた演習と全体講義
○	10 授業計画	同上
	11 準備学習	事前に配布される事例を熟読しておくことが望ましい
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

実践研修

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	PG4モニタリングの方法(講義・演習)
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
○	3 関連する研修目標	①
○	4 担当講師名	就業・生活応援プラザとねっと 重泉 敏聖 旭川ヒューマンサービスセンター 三瓶 章史 障害福祉サービス事業所 ピア山鼻 田中 耕平 社会福祉法人麦の子会 金澤 俊文
○	5 担当講師略歴	別紙掲載
○	6 時間数	120分
○	7 到達目標	・事業所のモニタリングについて、その視点・目的・手法等について事例、演習により理解する。
○	8 教科の概要	到達目標に準ずる
○	9 授業方法	分野別の事例を通じた演習と全体講義
○	10 授業計画	同上
	11 準備学習	事前に配布される事例を熟読しておくことが望ましい
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

実践研修

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	PG5 「サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者等の役割(多職種連携や地域連携の実践的事例からサービス担当者会議のポイント整理)」
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
○	3 関連する研修目標	①、③
○	4 担当講師名	就業・生活応援プラザとねっと 重泉 敏聖
○	5 担当講師略歴	別紙掲載
○	6 時間数	50分
○	7 到達目標	多職種連携や地域連携の実践事例を活用し、サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者・児童発達管理責任者について理解する。
○	8 教科の概要	到達目標に準ずる
○	9 授業方法	講義とグループワーク
○	10 授業計画	同上
	11 準備学習	事前に配布されるテキストを熟読しておくことが望ましい
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

実践研修

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	PG6 「実地教育としての事例検討会の進め方」講義・演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
○	3 関連する研修目標	③
○	4 担当講師名	就業・生活応援プラザとねっと 重泉 敏聖 旭川ヒューマンサービスセンター 三瓶 章史 障害福祉サービス事業所 ピア山鼻 田中 耕平 社会福祉法人麦の子会 金澤 俊文
○	5 担当講師略歴	別紙掲載
○	6 時間数	120分
○	7 到達目標	・事例検討会の目的、方法、効果等を講義等で理解する。 ・事例検討会の実施がチームアプローチの強化や人材育成にも効果を有することを理解する。 ・受講生が持ち寄った実践事例をもとに、事例検討会を行うことで、事例検討会の進め方を習得する。
○	8 教科の概要	到達目標に準ずる
○	9 授業方法	講義・演習
○	10 授業計画	同上
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

①本人主体の支援方法を理解すること

②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること

③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

実践研修

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	PG7 「サービス提供職員への助言・指導について」講義・演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
○	3 関連する研修目標	①、③
○	4 担当講師名	就業・生活応援プラザとねっと 重泉 敏聖
○	5 担当講師略歴	別紙掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・サービス提供職員への支援内容、権利擁護・法令遵守等に関する確認や助言・指導を適切に実施するための方法等について抗議により理解する。 ・抗議を踏まえて、受講者が事業所において実施している助言・指導業務について、グループワーク等により振り返るとともに、今後の取り組み方について討議により学ぶ。
○	8 教科の概要	到達目標に準ずる
○	9 授業方法	講義・演習
○	10 授業計画	同上
	11 準備学習	事前に配布されるテキストを熟読しておくことが望ましい
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること